

# 平成25年度納税表彰式

11月13日、アミューズメント佐渡で平成25年度の納税表彰式が行われ、申告納税制度の普及・発展や租税教育の推進などに尽力された次の方々が表彰されました。



★佐渡税務署長賞

金子真歩さん（両津中3年）

村川由利子さん（羽茂中3年）

★新潟県佐渡地域振興局長賞

鈴木風華さん（真野中3年）

★佐渡市長賞

岡崎 海さん（羽茂中3年）

木ノ下陽菜さん（羽茂中3年）

本間玲央さん（松ヶ崎中3年）

★佐渡市教育長賞

白杵広美さん（羽茂中3年）

中川美咲さん（両津中3年）

永野智映さん（真野中3年）

山本愛理さん（畑野中3年）

★佐渡税務団体連絡協議会長賞

島倉 月さん（真野中3年）

★全佐渡納税貯蓄組合連合会長特別賞

土岐理奈さん（両津中3年）

★全佐渡納税貯蓄組合連合会長賞

宇貝彩香さん（両津中3年）

大倉百合絵さん（真野中3年）

権代陽奈子さん（両津中3年）

樋口拓海さん（高千中1年）

★作文募集協力校全国納税貯蓄組合連合会長感謝状

市立真野中学校

市立羽茂中学校

## 中学生の税についての作文

市内の11校から179編の応募があり、その中から選ばれた入選者です。

★関東信越国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞

藤澤亜海さん（内海府中3年）

## 関東信越国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞

### 命と地域を守る税

内海府中学校3年 藤澤 亜海



六年前の夏休み。私は、家で友達と漫画を読んでいた。すると、突然、「キキーン。」とものすごい音がした。

何だろうと思ったが、友達が変わらず漫画を読んでいた。私もあまり気にしなかった。しばらくすると、外が騒がしくなってきた。何か、変だ。不安に思い、とりあえず状況を確かめようと、部屋を出た。すると、祖母と祖父の会話が聞こえた。

「大変だ。七海が車に轢かれた。」  
七海は、私の三つ下の妹だ。当時、五歳だった。その妹が車に轢かれた。私は、急いで外に出た。

もうすでに、外には多くの人が集まっていた。道路は、血で赤くなっていた。でも、妹の姿はどこにもなかった。当時、私の住んでいる地域まで救急車が来るのに、四十分はかかった。父は、救急車の到着が待ちきれず、途中で、自分の車で妹を運ぶことにしたそう。

その後、警察の人が来て、事故の原因を調べてくれた。夏休みで、しかもお盆中だったため、道端に多くの車がとまっていた。その車と車の間から妹が飛び出し、ちょうど走って来た車と衝突してしまっただけ。

幸い、妹の命は助かった。まだ幼かったこともあり、一度粉々になってしまった骨は、成長していくうちに再生すると教えてもらった。そして、現在、妹は毎日元気に学校に通っている。水泳大会や陸上大会へ向けての練習にも、一生懸命取り組んでいる。

これは最近知ったことだが、妹の治療やリハビリにも税金が使われていた。治療費だけではない。救急車も警察の人も、税金で働いていた。もし、税金がなければ、私の家では払いきれないほどの額になっていたかもしれない。そうしたら、今の元気な妹の姿はなかったかもしれない。

もう一つ、税金に感謝しなければならぬことがある。それは、私の住んでいる地域の近くに、消防署の分遣所が建てられたことだ。この分遣所も税金で建てられていることを、先生から教えていただいた。この分遣所があるおかげで、それまで、救急車が来るのに四十分もかかっていたが、今は十分程で来れるようになった。私の住んでいる地域は、高齢者が多い。分遣所が近くにあれば、みんな安心して日々の生活を送ることができるだろう。

私は、これらの体験を通して、税金はみんなが安全に安心して暮らすために必要なものだと思った。だから、私も大人になったら、しっかりと税金を納めたい。私の納めた税金が、誰かの役に立ってほしいと思う。